（最終改定：2025.05.12）

ナチュラーレ（NATURALE）
施工要領書

■　製品名

ナチュラーレ

品名			厚さ	不燃認定番号	
				プレコート品	プレコートなし
ベーシック		タイプ A・B	3mm・5mm	NM-5558	NM-8576
		タイプ C・D	3mm・5mm	NM-5559	
つづれおり		タイプ B	5mm	NM-5558	
		タイプ D	5mm	NM-5559	
シェルイン ｵｲｽﾀｰ	こがら	タイプ B	3mm・5mm	NM-5890（1）	NM-5890（2）
	おおがら	タイプ B	5 ㎜	NM-5890（1）	NM-5890（2）

■　副資材（当社製品を用いた場合の推奨品）

副資材	材料名
接着材	ボンド MPX-1　（コニシ株式会社）
両面テープ	ボンド TM テープ W1　（コニシ株式会社）

※ナチュラーレの表面側に接着剤の染みが発生する接着剤がありますので、上記接着剤をご使用下さい。

【施工の前に必ずご確認ください】

※施工前に施工要領書の内容をよくお読み下さい。

※各ページの **※注意**　および６～９ページの注意事項、免責事項もよくご確認下さい。

安全上の注意
副資材は推奨の両面テープと接着材を使用して施工してください。 推奨品以外のものを使用すると落下の恐れがあります。
建築基準法、火災予防条例などの法令・法規に従って施工して下さい。 火災の恐れがあります。
切断・穴あけ作業時には粉塵が発生しますので、マスクや保護メガネ等を使用して下さい。 粉塵を吸い込んだ場合、健康を害する恐れがあります。
高所作業での足場の確認、および安全帯の使用を徹底して下さい。 転落等によるけがの恐れがあります。

■ 施工要領

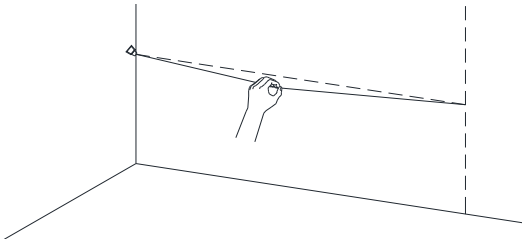
【施工前の下地の確認】

・下地は不陸の無いように仕上げて下さい。

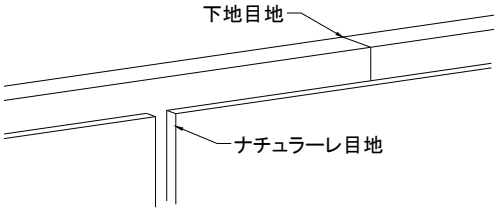
施工が可能な下地	・石膏ボード
※注意 施工に適さない下地	・湿気を帯びた下地 ・モルタル壁面、RC 壁面への直貼り ・ALC 躯体への直貼り ・塗装面、クロス面、化粧面への直貼り

1 下地壁面への墨出し

割付け位置に合わせて墨出しを行って下さい。



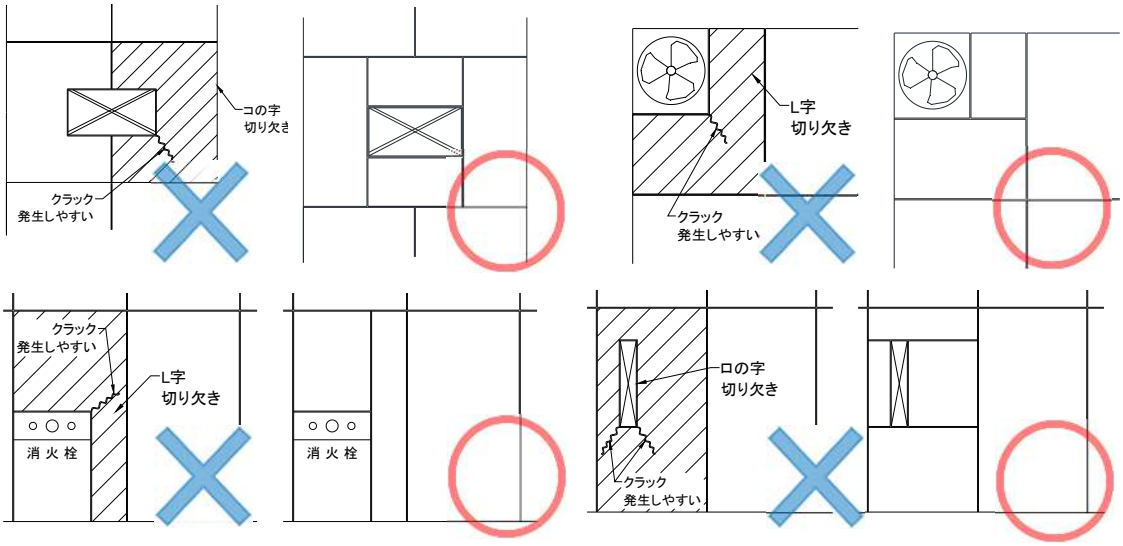
2 割付け



施工図に従い、施工箇所の下地に製品の割付を行って下さい。
割付の際、下地の目地と製品の目地が重ならないようにして下さい。

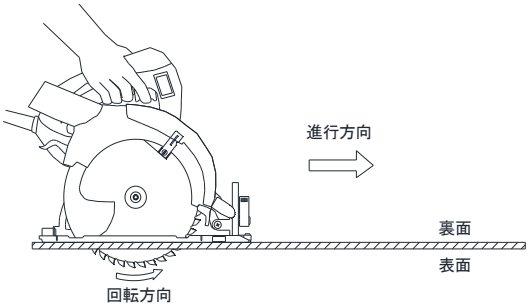
※注意 【割付けに関して】

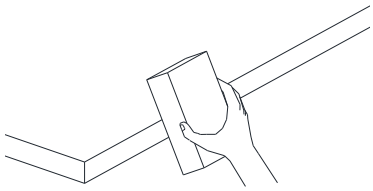
・製品をＬ型またはコの字型、ロの字型状態に切り欠くことを避けた割付けをして下さい。
・以下のような場合、切り欠きではなく、複枚を使用する割付け（ボードを分割）として下さい。
・室圧差による壁、天井の動きや、ドア開閉の衝撃、機器の振動により、切り欠き部分からクラックが発生することがあります。



※スイッチボックス等の小さな切り欠き（縦、横供に 150 ㎜以下）は除く

3 加工・面取り





・表面、側面(透かし目地の場合)のキズや打跡には注意して下さい。

・切断小口はサンドペーパー等でバリ取りや面取りして下さい。

製品の加工(切断・穴あけ)

切断	電動マルノコを使用し、切断してください。 表面側を傷つけない様に切断して下さい。 お手元のハンディーソーに合った外形、刃厚でご使用下さい。 切れ味が悪くなった場合は、刃物を交換してください。 刃物はスレート用チップソーやダイヤモンドソーを用いて、破材などで事前に試し切りをしてカット面の状態を確認下さい。 切断後はサンドペーパー等で小口を整えてください。
切断小口の面取り加工	サンドペーパー等を使用し、必要に応じて面取りをして下さい。
穴あけ	ハンドドリル又は電動ドリルを使用して下さい。
開口部加工	割付け上、やむを得ず切り込み部が発生する場合は、内コーナーは５R 以上取る様にしてください。 切断・穴あけ後はサンドペーパー等で小口を整えて下さい。 開口部では変形によるクラックが発生しやすくなります。
面取り方法	切断面はサンドペーパーに当木を添えて面取り下さい

※注意 【切断時に関して】

・切断時には粉塵が発生しますので切断器具には粉塵吸引装置を設け、防塵マスク、保護メガネ等をご使用下さい。
・粉塵が目に入った場合は焦らず流水で洗浄して下さい。また、吸引した場合は、うがい等を行って下さい。

4 貼り方(両面テープ貼付け、接着剤塗布)

・テープ、接着剤併用工法にて製品を貼ります。

・テープ、接着剤は１ページ記載の**副資材を用いて下さい**。

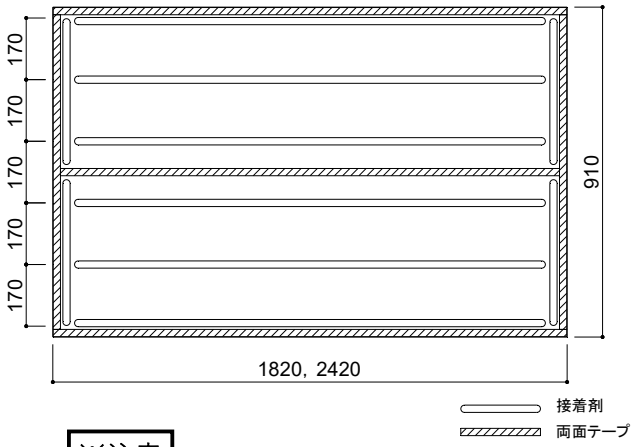
（１） 所定の位置に両面テープを貼り合わせ、強く押さえて基材に密着させます。

※目地底テープに両面テープを重ねる場合は、両面テープの半分以上を石膏ボードに付着させてください。

（２）所定の位置(両面テープのそば)に、接着剤をビート状(線状)に塗布します。

※接着剤をダンゴ状に塗りつけることは止めて下さい。接着剤染みの要因になります。

ナチュラーレ 両 面 テ ー プ ・ 接 着 剤 貼 り 方 例



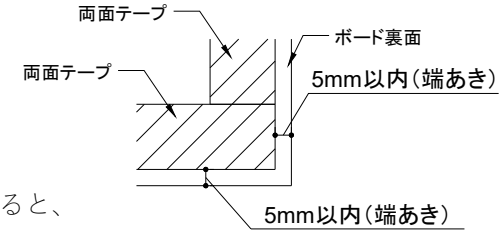
●副資材使用量の目安

	使用量	
	910mm ×1820mm	㎡当り
両面テープ	7.2m	4.3m
接着剤（ｶｰﾄﾞﾘｯｼﾞ）	1.4本	0.9本

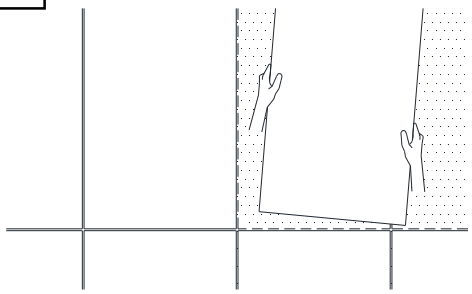
※注意

・両面テープは基材端部から距離がある、あるいは貼っていない箇所がある場合施工後反り段差が発生する恐れがあるため基材の外周に合わせて貼って下さい。
　尚、両面テープは基材の外周から５㎜以内に貼り付けてください。

・両面テープおよび接着剤は推奨品以外を使用すると、含まれる成分によってナチュラーレの表面側に汚れや染みが発生する場合があります。



5 下地への貼付け



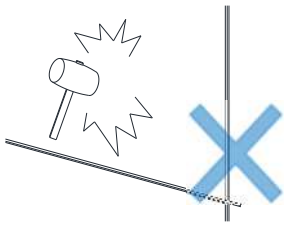
製品の位置を決めた後に、両面テープ・接着剤の位置を手で押さえ込むようにして製品全面を十分に圧着させてください。

※注意

・貼付け前に下地に凹凸がないことを確認して下さい。

・ゴムハンマーなどによる圧着は避けて下さい。

・手で勢いよく製品を下地に押し付けないで下さい。



6 養生

取り付け後は、季節に合わせて既定の時間以上静置して下さい。

●養生時間の目安

夏場	24 時間以上
冬場	48 時間以上

※注意

・当該ボード（プレコート品含む）の表面には、テープ類（ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど）を貼り付けることは、止めて下さい。ボード表層（塗装含む）の剥がれや、テープ類の糊残りが起こる場合があります。養生する際は、天井、床など当該ボード以外の部材に養生シート等を貼付け、当該ボード全面を覆う様に養生して下さい。

7 片付け

残材は、作業所管理者の指示に従い処理して下さい。

※注意

・プレコート品はシンナー等の強溶剤で拭き取ると塗装が剥がれるため使用しないで下さい。

8 検査

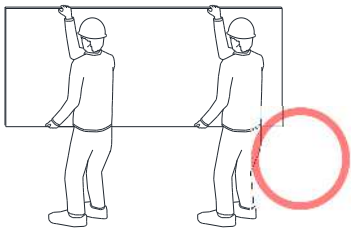
施工中および施工後に、下記の品質管理チェックポイントを定め、検査を行って下さい。

項目	チェックポイント	チェック方法
外観 （汚れ）	接着剤による汚れの付着	目視
外観 （損傷）	傷　　クラック	目視
接着不良	中央部の膨らみ	目視　反響音
接着不良	端部の浮き	目視　反響音
目地	段差	目視

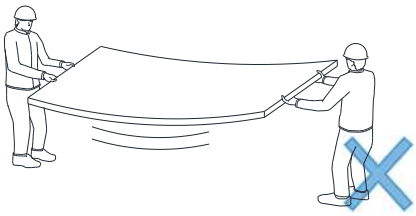
9 完了・引渡し

■　持ち運びに関する注意事項

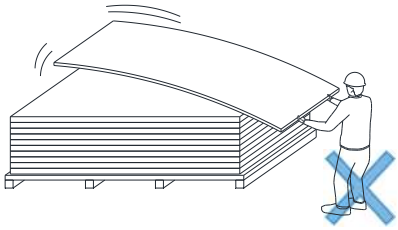
●持ち運ぶ際には、二人作業でたわまないように立てて持ち運んで下さい。
●引きずると傷の原因になるため２人で持ち上げて運んでください。
●製品の一部を支点として取り扱わないで下さい。表面にクラックが入ることがあります。
●クラックや反りの原因となるため、たわみ、ねじれ、ゆすりおよび振り回しはしないで下さい。
●鋭角な器物との衝突や角当ては損傷の原因となります。



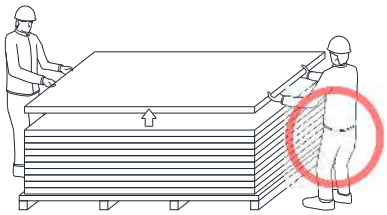
・2 人作業で立てて持ち運んで下さい



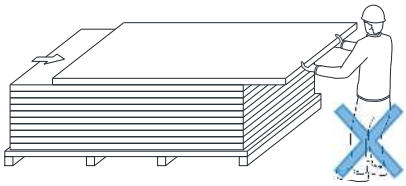
・たわませ、ねじり、ゆすり、振りまわし等はしないで下さい。



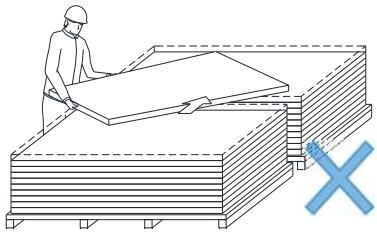
・製品の一部を支点にして持ち上げないで下さい。



・2 人で持ち上げて下さい。



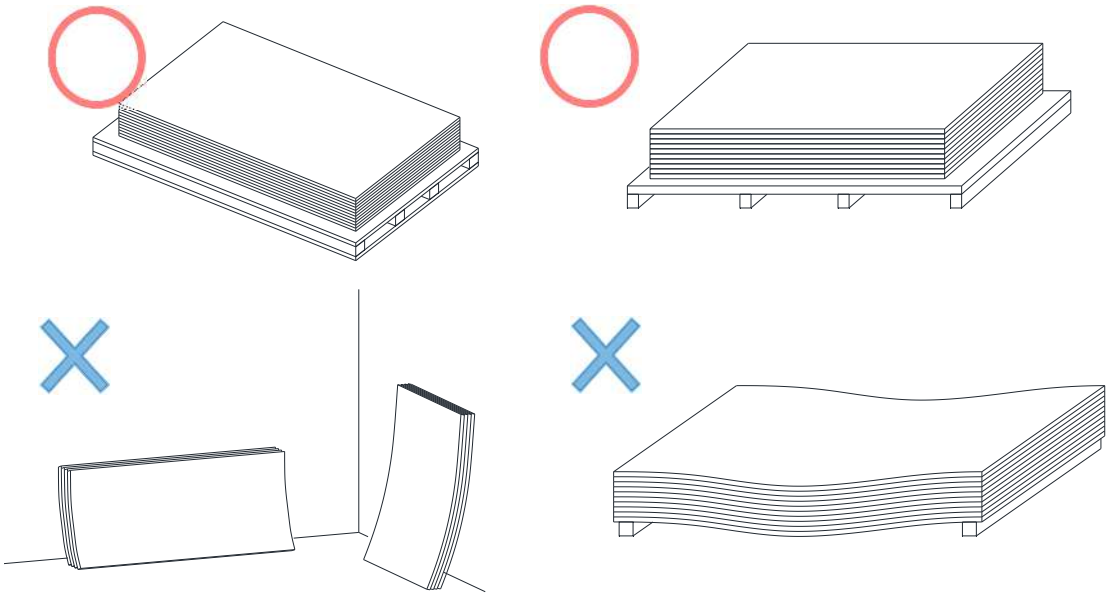
・引きずらないで下さい。



・一人でハンドリングしないで下さい。

■　保管に関する注意事項

●直射日光や湿気の多い場所を避け、風通しの良い、雨濡れのない場所に保管して下さい。
●地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みして下さい。
●壁などに立てかけると、反りや破損の原因となりますので、絶対におやめ下さい。
●支点の少ない状態で平積みしていると、たわみ・反りの原因になりますので絶対におやめ下さい。



■ その他注意事項

（1） 意匠に関する注意事項

【意匠】

●ナチュラーレ表面の色・ムラを均一にすることはできません。

●製造(原料)特性上、製品に白色やグレー色等のはん点が含まれる場合があります。

●素材の性質上、表面の吸水によるシミや白華、 乾燥収縮による反りを起こすことがあります。

●本製品は、仕上げ材になります。表面に汚れが付着しないよう十分に、ご注意下さい。

●汚れが付着した場合はすぐに拭き取って下さい。水分の吸水によりシミになることがあります。

●製法上、ボード表面には微細な凹凸（スジ・不陸）があります。
特にタイプＡ・タイプＣは光の当たり方により、凹凸が見えることがあります。

●シェルインは、牡蠣の貝殻を粉砕して織り交ぜています。貝殻の特性上凹凸があります。
光の当たり方により、凹凸が見えることがあります。

●つづれおりタイプＢ・タイプＤはボーダー柄の起点を合わせて製造することはできません。

●本製品はセメント・繊維（パルプ等）を紙漉きの原理で漉き上げ、薄型のボード状に成形したものです。そのため、仕上げ意匠は均一化されず大きくバラつくことがあります。お客様のイメージ通りとならない場合もございます。必ずサンプルにて現物をご確認の上、採用を検討ください。

【目地】

●ボード間を透かし目地で施工する場合、目地部には目地底テープあるいは目地部の塗装を行うことをお勧めいたします。

●ボード間を突きつけ目地で施工する場合、乾燥収縮の影響で目地がひらくことがあります。
目透かし同様に目地底テープあるいは目地部の塗装を行うことをお勧めいたします。

【プレコート】

●プレコート品は、セメント材粉の付着抑制を目的としております。防汚性は低いため、施工完了まで十分に、ご注意下さい。水掛かりがあるような場所では使用いただけません。

（2） 使用場所に関する注意事項

●屋外や水掛かり部分ではご使用いただけません。

●内装壁面施工専用ボードになります。天井・床では使用いただけません。

●曲面への施工・曲げ加工はできません。

●クリーンルームには、使用いただけません。

●浴室の外装等水気の強い場所、常時水分に接するような場所には使用いただけません。

●凍結する可能性がある場合には使用いただけません。

●玄関、トイレ等の水に浸される可能性がある場所に施工する場合は、たたきから 50mm 以上上げてお使いください。

（3）施工時、作業時に関する注意

●ビス、釘等を用いる場合は、事前にナチュラーレに下穴加工をお願いします。
下穴加工なしに用いますと割れ欠け、クラックの原因となります。

●冬季等、低温で接着しにくい場合は、接着剤、両面テープを暖めてからご使用下さい。

●高所作業での足場の確認および安全帯の使用を徹底して下さい。

●局部荷重や衝撃により割れることがありますので、重量物を載せたり、上に乗ったりすることはお避け下さい。

（４）現場塗装の注意事項

●表面に粉じん、油脂、エフロ、汚泥等が付着していないことを確認し、付着している場合には必ず除去してから塗装を行ってください。

●スプレー工法で塗装する際は、作業場のほこりを十分に清掃してください。
（スプレー工法で塗装を行うと減圧空間が生じ、ほこりを吸収しやすくなります。）

●事前に試し塗りで確認して下さい。

●以下の場合、塗装の色ムラが発生する恐れがありますのでご注意ください。

・塗布量のバラつき
・希釈率や塗料に含まれる水分の蒸発
・ローラー往復回数やローラー塗装方向の違い
・隠ぺい性の低い塗料をご使用された場合等

（５）クリーニングについて

●汚れがついた場合は、乾拭きしてください。汚れが落ちない場合は、水または中性洗剤を布に含ませて、十分に絞った状態で拭き上げてください。

●汚れたところをサンドペーパー等で削ると、意匠性が変わりますのでご注意ください。

（６）廃棄物に関する注意

●廃棄物の処理および清掃に関する法規に基づき許可を受けた業者で適正な処理を行って下さい。

■　廃材処理の留意事項

①廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「破棄物処理法」という）」に従い、「ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず」または「がれき類」として安定型処分場に処分できます。（自治体により異なる場合がありますので。詳細は事前にご確認ください。）

②廃棄物処理法における廃棄物の排出事業者は、元請様となります。

■　免責事項

①本施工要領書に記載した取扱い注意事項が行われずに発生した不具合
②施工業者による施工、取扱いに起因する不具合
③建物の構造・振動・下地の変形・老朽化等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
④使用者もしくは第３者の故意または過失による不具合
⑤引き渡し後、構造・性能・仕様等の改造を行い、これに起因する不具合
⑥地震・台風等の天災、火災等の特殊要因により発生した不具合

株式会社ノザワ　販売本部　住宅建材部

〒 650-0035　兵庫県神戸市中央区浪花町 15 番地
TEL:078-333-4172